

令和6年度第一回 保護連理事会

日時:2024年5月10日(金)10時~11時

場所:グリーンパレス 5階孔雀①②

出席者(敬称略):

園長会会長:福井、園長会副会長:大藤

令和5年度役員:小宮山、林、尾崎、飯嶋、石田、古屋、中村

各園代表理事約30名及び各園園長

・ご挨拶 福井先生

以前は300万の助成金を江戸川区からもらっていたが現在は無くなっている。

コロナで行事がままならなくなってきた中で会費を集めるのが課題になってきた背景から、今年度(令和6年度)からは保護者からの会費を廃止し、園長会からの費用捻出にて継続運営していく形とすることとした。

行事については個別に都度費用負担するケースが出てくる可能性もあるがその場合は理事会にて協議の上決定する。

子どもを真ん中に置き、園長会、保護者、行政が三位一体となって地域で見守っていく役割も保護連という組織が担う役割。今後も協力し会の運営を目指したい。

一現在江戸川区私立認可保育園115園

一理事は基本1名とする。その1名が園の代表として理事会に参加。

・議題

①令和5年度事業および決算報告(詳細は次第参照)

一理事会3回、役員会6回実施

一園長会助成金は予算よりも100万円多く集金し114万→214万へ

一交流連携事業については予算80万に対して、決算224万超

参加者が予定よりも上回ったことが起因して予算を超えてしまった

一その他の事業として安心安全の取り組みのためメッセージポールを作成し各園に配布

予算時点では組入がなかったため予算0に対して決算額184万超となっている。

②会則改訂(案)

一第五条:今年度から役員に会計を置かないこととしたため、会計を削除

一第十条:保護者からの会費が無くなったため、園長会が負担する、という表記へ変更。

③令和6年度の事業計画

予算が大幅減となるため、開催行事については厳選し実施。

また予算内での調整が難しい場合は会によって参加費を徴収する形で実施となる可能性あり。

- 6月5日 総会を開催予定
- 勉強会は理事会と合わせて実施予定。内容については理事会にてアンケートなど実施の上協議して決定する。
- 7月の勉強会については魔女の文学館の見学の可能性を施設側と確認・調整中。その場合は会場キャパシティなどの問題から理事会の同時開催が難しいため、別開催とする。
- 園児育成事業として親子観劇会は継続実施。

※但し、予算面で過去同様の実施形態が難しい可能性もあるため費用負担も視野に入れて計画。

- 前回の理事会アンケート結果にて希望の多かった「情報共有」の方法を見直すため、今年度は庶務が議事録を取りまとめ、園長会HPに掲載の園長経由で各園理事へ配布・共有する。
- 従来広報事業のメインになっていたこだま発行については、各園から印刷して配布するなどに変更し印刷代を軽減抑制。

④役員改選について

理事長、副理事長は募集なし。庶務について若干名募集。

質疑応答

1. 勉強会の実施については理事以外の保護者へ参加機会を提供することは検討するか？
引き続き参加するのは理事のみ。各園理事1名となるため、今後は理事が内容を自園へ共有・報告する形で運営していく。
2. 理事会勉強会の実施にあたってのタイムスケジュールはどのようになっているのか？
仮案)
9時半～11時：勉強会
11時～12時：理事会
今後開催時間についてはアンケートを実施の上柔軟に検討。
3. 理事1名となるとのことだが、都合がつかない場合の対応はどうなるのか？
→園で代理を立てるか、園長先生が参加できる場合は園長先生が参加で問題ない。
4. 理事会などの開催場所の検討(グリーンパレス以外)はあるのか？また、年間で複数回開催する場合、開催場所を各地域持ち回りで公平に検討できないか？
→100名規模が入れる会場を考える必要があるため各地域での会場を検討の上要協議。
また、江戸川区役所のこども家庭部経由で会場をおさえてもらっている関係もあり、年間予定として日時をまとめておさえるなどの考慮が必要。
5. 参加費(交通費)についてはどのように支給されるのか？
→現時点ではまだ決まっていないが各園にまとめてお渡しし、園から理事へお渡しする予定。交通費の名目として予算に組み入れていないのは、会場への移動方法が人によって様々であり、交通費とした場合に実費がかからないケースでの対応が難しくなるため参加費として支給とすることとなった。

⑤その他

<次回及びすでに決定している予定>

6月5日(水)総会 10時～12時 @タワーホール船堀 ※食事なし

9月26日(木)理事懇親会 @タワーホール ※食事あり

・閉会のご挨拶 大藤先生

理事及び園長は保護者への周知・連絡という役割を担っていくこととなる。園長、保護者、行政が一体となって継続してきた歴史ある保護連を今後も継続していくことに意義がある。有事の際にも互助できる繋がりとしても機能させるべく、各理事の協力のもと運営の協力を求めたい。

